



三次中央会報

ロータリークラブ

2018-2019 ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2710

事務所/広島県三次市十日市東 1-16-19
TEL (0824) 64-1245
FAX (0824) 64-1245
E-mail m-c-rc@vega.ocn.ne.jp
http://mrcr.server-shared.com

例会場/広島県三次市十日市南 1-5-5
グランラッセレ三次2F

例会日/月曜日 12:30~13:30

会長/角谷俊典

幹事/栗本清秀

●2018~19年度 国際ロータリーのテーマ



インスピレーションになるう

●2018~2019年度 三次中央RCスローガン

広げよう ロータリーの心
増やそう ロータリーの友

■本日のプログラム 会員卓話/プログラム委員会

中西君、元廣君、松本君

■次回例会日時 2018年11月19日(月) 12:30~

■次回プログラム 職場例会/職業奉仕委員会

酒屋「森のポッケ」

■第1241回例会記録

●日時.....2018年11月5日(月)12:30~

●点鐘.....会長

●国歌「君が代」斉唱.....全員

●ロータリーソング「我らの生業」.....全員

●ゲスト紹介

地区ロータリー財団委員会 資金管理小委員長 小田大治様

■開会挨拶.....角谷会長

11月はロータリー財団月間です

皆様、こんにちは。

ゲストの小田様、本日はご講演、よろしくお願ひいたします。

もう11月です。会長の職もあと8ヶ月、指折り数えております。11月は陰暦では霜月といいますが、「霜降り月」の略とも言われております。11月は1年のうちで最も変化のある月で、初旬はまだ青空が高く、秋晴れの好天気が続き、まさにゴルフ日和の月ですが、立冬を過ぎると朝晩の気温が下がり、寒さを感じるようになります。今まさに三次はこんな様子ですが、下旬は落葉が舞い、初雪の便りも聞かれ、寒い冬の到来が近いことを知らせます。11月は日本の風土を象徴する月とも言えます。皆さま、風邪にはお気をつけください。

さて、深夜寒くて目が覚めて、見ていたテレビ番組の話です。途中からだったので詳しくはわかりませんがアフリカで一人で活動を続けるNPOの48才の女医の方のお話です。当然のように医療設備や高度な医療器具はなく、粗末な医療器具と薬だけといった、昔のお医者さんがカバン一つで往診されていたような姿です。腕に巻く血圧計は使いすぎで破れ、それをガムテープで補修しながら使っていました。住民に与える薬は車で何時間もかけて市街地

の薬局にいき、薬の値段を値切りながら買っていました。

手にしていたペンや電池を握りしめて、何度も「大事に使うこと」と言い聞かせていました。彼女に寄せられた寄付はまだまだ少ないようでした。

多くの部落で回診し、各部落民のカルテのようなものも作っていましたが、多くの子供たちがマラリアにかかって感染していました。

彼女に30代の頃、女性として結婚、出産について思い悩んだ時期もあったそうですが、やはり現地の人たちを見捨てることができないと、今も医療活動を続けておられます。世界を見渡せばほんの一例かもしれませんが、ただその時感じたのは、財団や米山の寄付がそうした活動をしている人たちにいくらかでも渡ればいいのにな...という思いでした。

国際ロータリーはポリオ撲滅の活動をしています。が、ポリオだけではないのでは...そんな思いがしました。とはいえ、今月は財団月間です。皆様のご協力よろしくお願ひいたします。



■ロータリーの行動規範.....中島清祐会員

ロータリーの行動規範の歴史は、ロータリーならではの職業奉仕ということで、今から100年以上前に職業人の道徳として作られたのが始まりです。4年前、職業を離れる会員もいることから「ロータリーの行動規範」と呼ばれるようになりました。それでは、ご自分の職業奉仕に照らしてご唱和をお願いします。

■幹事報告.....栗本幹事

- 本日19:00よりグランラサーレにおいて、第5回理事役員会を開催いたします。
- 11月はロータリー財団月間です。
- さ来週の職場例会の出欠表をまわします。
- 来年1月13日のマイハートコンサートの案内が来ています。
- ロータリーの友誌、ガバナー月信を配布しています。

■出席報告.....水野委員長

●第1239回 10月22日

会員数	41名	Make-up	2名
欠席	7名	出席合計	36名
欠席者のうち無欠席	1名	出席率	90.00%

- Make-up...石田君、小根森君、松本君、中島諭君
- 第1241回 本日の出席は41名中32名です。

■ロータリー情報委員会.....松本委員長

友誌の読みどころをご紹介します。
 今月はロータリー月間ということもあり、ヨコ組のP.8～P.13に財団の事がわかりやすく書かれています。
 P.18～P.27にはポリオについて、どんな病気か、なぜ時間とお金がかかるのかについての記事が載っています。
 タチ組のP.4には社会奉仕セミナーとして児童虐待について取り上げられています。

■職業奉仕委員会.....上田委員長

11月19日の職場例会は「森のポッケ」で行います。ワイナリーで食事の後、13:00から「森のポッケ」の視察です。

■SAA.....大井SAA

- ゲストニコニコBOXご出宝
小田様...本日財団委員として面白くない話を聞いていただき、すみません。
- 会員ニコニコBOXご出宝

ニコニコBOX本日出宝額 19,000円



▲小田会員、しまなみサイクリングの様子



中島諭会員がタイのダムロン高校へ
 密贈した浴衣▶
 会報 1236号参照

みなさんこんにちは、今月はロータリー財団月刊です。国際奉仕委員会の中にロータリー財団がありますが、担当者として村竹会員に引き受けていただきました。

本日は、先にビデオを12～13分見ていただき、その後資金管理小委員長の小田様からお話をいただきます。



沈勝義国際奉仕委員長



新しいビデオを選んで見ていただきました。補助金事業では乾燥機を申請し、中央と地区とを合わせて約30万円の決定を受けています。

ところで、皆様のお手元に、昨年までの寄付状況を記載した資料を置いています。本年度の地区目標は1人150ドルですが、世界の目標は1人100ドルとなっています。150ドルは多額であり、目安として日本円で10,000円程度がよいかと思っています。11月中に「ロータリー財団寄付のお願い」に寄付金額を記載して受付へ提出してください。

村竹昇ロータリー財団担当

ロータリー財団の補助金について

地区ロータリー財団委員会 資金管理小委員長 小田 大治



皆さまこんにちは。本日はよろしくお願い致します。中央ロータリーの小田耕三会員には、私の後継者となっていただきたく思っております。今日は、アシスタントをしていただきます。



皆さまからの寄付は、国際財団活動資金 (WF) と、地区財団活動資金 (DDF) の二つに分けられます。そして地区補助金を活用しようとするれば、前年度に計画を立て、申請をして、当年度に使うということになります。

もう一つ、財団では寄付金を運用します。運用するということは税金の対象になりますので、財団にしなければなりません。税金を少しでも安くするために、色々細かい決まりごとがあり、申請も面倒な事になっておりますが、ご了承いた

ロータリー財団の補助金の種類

①地区補W金

財団の使命に当てはまる活動を支援するために、地区に一括で支払われる補助金

その全額はDDF(地区財団活動資金)の配分によって賄われる

②グローバル補W金

6つの重点分野のいずれかに該当し) 地域社会で特定されたニーズに応える等の要件が付されている

DDFとWF(国際財団活動資金)によって賄われる

シェアシステム

シェアシステムとは

ロータリー財団では、寄付の3年後に、その資金をプログラムに使用する独自の3年同期システムを採用しています。

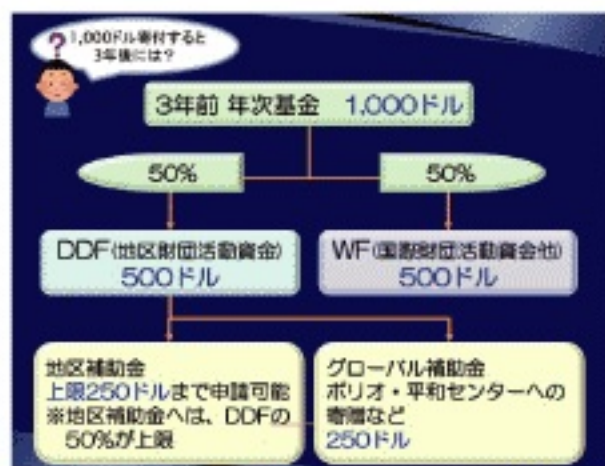
「チャリティ・ファンド」と呼ばれる仕組みを通じて、人・プロジェクト、奨学金、職業研修チームの活動を支える補助金に生まれ変わります。

地区内のクラブからの年次基金(シェア)への寄付は、ロータリー年度末に、国際財団活動資金(WF)と地区財団活動資金(DDF)に分けられます。

だきたいと思います。

問題は、年次基金として、この地区は1人150ドルにプラスしてポリオ35ドルの合計185ドル、また、恒久基金として1クラブ1,000ドルを目標に集めることです。この寄付金は、厳しい管理と運用を行います。

細かい決まりはよく変更になりますので、覚える必要はありません。このデーターを事務局に預けておきますので、時間のある時に見ていただければ解ると思います。



地区補助金(2)

地区補助金は、一括で地区に支払われ、地元や海外の緊要なニーズに取り組むために使用できる補助金です。

地区は毎年、ロータリー財団の使命を支える地区やクラブの活動を支えるために、使用可能なDDF (地区財団活動資金) の50パーセントまでを、1年に1回、地区補助金として申請できます。



■謝辞.....角谷会長
■点鐘.....角谷会長



《三次よもやま54》 三次尾道 バス

三次町の本通に「わいわいギャラリー」というお店があるのをご存知ですか。お店といっても何も売ってる訳ではなく、絵が飾ってあって、テーブルと椅子が少しあるだけのお店です。この前を通る度、昔ここは私の同級生の家で停留所をやっていたのになあ〜と気にはかかっていた。ところがここをやっているのは、半分Uターンしたその同級生だったので。彼は岡山に住んでいるのですが、三次の両親が亡くなった事から、かつて停留所だった家を地域の人達への恩返しに、わいわい寄って喋れる場所をと、昨年この店をオープンしたのでした。

でも私がカンドー!!したのは、この店にかつて停留所だった名残の『三次一尾道線』の案内板があったことです。今はカウンターの入り口の扉としてひっそり使われ、(彼曰く、停留所だったことを忘れたくないから) 見ると懐かし〜い標示です。(写真を見てください)

今や尾道へは、やまなみ街道を通過して所要時間は一時間になりました。

これを見ていると、ぐにやぐにや曲がった尾道への道が彷彿されます。

